

東海大学理学部

数学科同窓会会報

第12号

【巻頭言】

元教授 土井 誠

1994年東海大学理学部数学科に赴任して23年間在籍し、2017年3月に特任教授を最後に退職しました。1999年9月から1年間ほどタイ王国のKMITL（モンクット王ラカバン工科大学）にいましたので、数学科で教鞭を執ったのは正味22年間です。

その間に阪神淡路大震災、東日本大震災が起きたことが強烈な印象となって心に残っています。特に後者が起きた2日後に、余震激しい成田空港を飛び立ってタイ王国に研究打ち合わせに行ったことを昨日の事のように思い出します。その年の夏にKMITL数学科との第3回合同研究会を湘南校舎で開催することになっていました。打ち合わせが済んで一休みしているところに福島原発の爆発映像が飛び込んできました。

KMITLの人達に日本は壊滅するだろうから帰国しない方が良いと言われました。しかし、「日本はきっとこの大惨事を克服する。なぜならば我々は日本人だから。」と答えて帰国しました。結局第3回合同研究会はKMITLで開催しましたが、第4回合同研究会を2014年3月に湘南校舎で開くことができたのは望外の喜びでした。かの国の数学発展にいくばくかの貢献ができつつあるのは東海大数学科の皆様のお陰です。

23年間の理学部数学科での研究教育経験から得た教訓は「数学は触媒である。」というものです。

何か事を成すときの切っ掛け作りをし、活動を促し加速させ、成し遂げた後は存在が消えている。

例えば、ノーベル物理学賞や化学賞受賞者が基礎科学の重要性を強調しているのは数学の重要な働きが念頭にあるのだし、日本国政府が数学の教育と研究を重視し始めたのもその表れと言えましょう。また、最近のデータサイエンスなどの統計ブームも数学が根底にあるように思われます。もう一つ得た教訓は、人と人の繋がりが最も重要であるというものです。同じ大学の同じ学科に居合わせたのは偶然ではありません。

縁を大切にし、心と心の通い合いができることにより、より人間らしくなるのではないのでしょうか。同窓生の繋がりを密にし、互いの存在をより輝かせる数学科同窓会の役割はますます重要なものになるでしょう。

親の小言と一緒に、10年後20年後にその重要性が効いて来ることでしょう。

【セカンドライフへのチャレンジ】

1970年度 数学科基礎数学専攻卒 原田三行

43年働いた仕事を定年退職して、1年目はのんびり過ごそうとスタートしました。早朝散歩に週2回のスイミングで1キロメートルを泳ぎ体力維持に努めていました。また小さな畑があり趣味の園芸で夏野菜にネギ、玉ねぎ、ジャガイモ、キャベツ、白菜、アスパラなど多くを少しずつ順番に連作しないように考えながら栽培をしています。今年の夏は天候不順で思うように収穫できませんでした。逆に雑草がはびこり日中の暑い日は雑草取りもできず、伸び放題の状況でした。仕方なく夕方コソコソ作業をしていましたが、体の衰えと熱中症対策で思うように進みませんでした。無理をせず自然に任せながら旬の野菜が口にできれば良いと考えて取り組んでいきたいと思います。

1年が経過したころから、地域活動に誘われ社会福祉協議会（以後、社協）のメンバーとなり、地域の福祉活動に携わることになりました。

高齢者や未就学児童のサポートです。定例での活動があり結構な仕事量ですが、楽しくさせてもらっています。サポーターも高齢者が多く老老での支援となっています。少しでも若い我々世代が頑張らなければと思います。活動しています。

社協を1年経過する時期に地元公民館の館長のポストが空いたとのことで、推薦を受け引き受けることになりました。今までしたことのない経験ができ社会貢献に寄与できることは、大変ではあるもののやりがいのある仕事に出会えたと思っています。まさにセカンドライフへのチャレンジです。

現在は2年目で何とか地域にも馴染み少しずつではありますが、貢献できているものと思っています。私が勤めている公民館は平塚市立南原公民館と云います。平塚市の公民館の特徴は小学校区に1つの公民館が配置されています。小学校28校に対し25の公民館があり、さらに公民館を管理するための中央公民館が設置されています。

公民館は小学校区に1つということで地域に根ざした活動が行われています。公民館は年末年始を除いて毎日朝9時から夜10時まで開館しています。日中は高齢者などのサークル活動が多く行われており、にぎやかです。また夜は仕事を終えてのサークル活動や趣味の活動、地域に関連した団体の利用が行われています。

公民館の役割は「つどう」、「まなぶ」、「つなぐ」と言われています。地域の方々にこの役割が浸透していけるよう



にしていきたいと思います。世代間交流が益々盛んに進めていけるように力を注いでいきたいと思っています。

最近、公民館のサークル（パークゴルフ）に参加しています。ほとんどが私より年配者でこの夏の暑い日にも熱中症に気を使いながらゲームを楽しんでいます。地域活動に根ざした行動をとることにより、地域社会が益々元気で活力のある社会になっていくように育てていきたいと思っています。

【大学入学してから】

1983年度 理学部数学科卒 田中光明

1985年（昭和60年）に卒業しました、田中光明と申します。現在、千葉県の市原八幡高等学校に勤務しております。近くに東海大学市原望洋高校があります。現勤務校がライバル視をしています。

私の大学時代の勉強は、今までの数学と全く違った数学に出会うことになりました。それは1年生の現代数学序説から始まりました。位相と集合や ϵ - δ で苦しんだのを覚えています。数学の分野はこれといって得意分野はなかったのですが、幾何学を不得意としておりました。勉強を進めるごとに才能の無さを実感させられたのを覚えています。それに対し、現代文明論を含めた教養科目は本当に新鮮さを感じていました。私の大学生生活は数学に関しては決して良い生徒とは言えないと思います。そして、4年生の今井正隆先生の線形代数で終わりました。今井先生のゼミは厳しかったのを記憶しております。

卒業して偶然ですが公立高校の教師になることができました。落ちたら1年間自転車でツーリングをしようかなんて、のんびりした事を考えていましたが、叶いませんでした。教員採用試験に合格した後は、本大学卒業で船橋西高等学校の校長であった廣川善任先生に引張っていただきました。先輩がいることは本当にありがたいと思いました。

教師生活は数学を教える傍ら、1校目では4年間、吹奏楽部とサイクリング部の指導をしました。高校大学と7年間マンドリンクラブに所属していたので吹奏楽部の顧問になりました。また、サイクリングでは富士山に行きました。2校目からはバドミントン部の指導をしました。若松高等学校、千葉南高等学校で10年。4校目は市原八幡高等学校を9年半勤務しました。この間、本大学卒業生と四人一緒に勤めました。同窓生がいることは大変うれしいものでした。

私の教師生活も、あと3年半を残すのみになりました。若い頃は力で押す授業。少しずつテクニックを身に着けスマートな授業の展開。今はアクティブラーニングというものが主流となりつつあります。数学で培った柔軟な頭で乗り切ってゆきたいと思っています。

この度、千葉県同窓会長、阪本尚志様より声をかけていただきました。誠に感謝申し上げます。これからも理学部

数学科同窓会の発展を願っております。

【卒業から3年目を迎えて】

2014年度 理学部数学科卒 大野貴弘

初めに本会報を執筆する機会を与えて下さった数学科の先生方に厚く御礼申し上げます。

今年の4月から初任者として、ふるさと岐阜の中学校で数学を教えています。職場の先輩や同僚は親切な方ばかりで、毎日楽しく勤務させていただいています。学校も落ち着いていて、生徒たちから毎日元気をもらっています。数学の授業については、私自身の授業力不足な点がまだまだたくさんあるので、授業の進め方を工夫しながら「数学って楽しいな」と思ってもらえる授業を日々追求しています。

ふと、学部時代を思い返してみますと、数学の世界に引き込まれていました。代数、幾何、解析など様々な分野の講義を受けては、仲間と数学について熱く語った記憶がたくさんよみがえります。中でももっとも印象に残っているのは、古谷先生に勧められて調和解析セミナーで『高木関数の微分不可能性』について、ゼミの友人と協同で発表さ



せていただいたことでした。友人と英語の論文を一緒に和訳して、発表の準備を進めました。何回も発表の練習をして、たくさんの先生や仲間聞いてもらいました。セミナー当日はとても緊張しましたが、発表後に世界を代表する解析学の教授からお誉めの言葉をいただき、とても励みになりました。卒業から3年経った今では、大学で学んだ数式や証明の多くは記憶の彼方になってしまいました。しかしながら、そこで出会った仲間は今でもつながっています。同じ教育の道に携わる仲間、企業で活躍している仲間など多くの仲間が全国にいます。そんな仲間をつくることができたことが大学生活の一番の財産です。

今年の夏休みに私は少し休みをいただいて、無限の会の総会に参加しました。学部時代に教職セミナーでお世話になった数学教師の方に久しぶりにお会いできました。地域は違いますが、授業の進め方や学級経営についての的確なアドバイスをいただくことができました。今回このような無限の会に参加して、改めて人とのつながりの大切さを実感しました。悩んだときに、全国で活躍している先輩や仲間がいると思うだけで励みになります。私自身これからも東海大学で出会った方々や仲間とのつながりを大切にしていきたいです。

【同窓会の活動状況】

2016年度は2017年3月25日の学位授与式が終了した後、同窓会賞の授与式を行いました。山田同窓会長が鈴木一平さんと平井尚美さんの2名に授与されました。その後、同窓会の入会申し込みを受け付けました。



(学位授与式の終了後の風景)



(山田会長と歓談風景)



(前田主任教授と卒業生)

例年、11月3日の大学の同窓会ホームカミングデーに合わせて数学科同窓会も18号館理学部棟の8階で開催しています。今年は山田会長が所用で欠席となりましたが、前田先生、山本先生が出席され、先輩、後輩が集い、話に花を咲かせています。家族ずれでの参加もあり楽しく過ごしています。お気軽に参加してください。お待ちしております。参加者全員に会報11号を発行しました。会報の送付を行っていますが、周りで届いていない人がいましたら事務局までご連絡ください。お送りいたします。

OB, OGとして学生支援に役立てるよう協力して行こうではありませんか。

同窓会として協力できることは実施していきたいと思

いますので、お力添えのほどよろしくお願いいたします。



(5号館ロータリーから1号館に向かった風景)

数学科同窓会の会員数は

2017年4月現在：4367名です。

【事務局便り】

数学科同窓会の会報は卒業生や先生方からのメッセージや大学の現況、さらに懐かしい先生からの思い出など、同窓生にとって有意義な情報発信ができればと思っています。800文字+写真など原稿をお届けください。次号に掲載させていただきます。また、興味のある企画などありましたら積極的にお寄せください。

卒業生の寄稿も歓迎です。また、一言メッセージを随時募集しています。また広告の掲載も募集しています。掲載を希望される人は下記の連絡先にお問い合わせください。数学科同窓会に関するお問い合わせも、下記の連絡先までお寄せください。E-mailでお待ちしています。

連絡先

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学理学部数学科同窓会事務局
事務局長：原田三行（70年度卒）
e-mail：zharada@star.tokai-u.jp

同窓会の運営経費は会員皆様の会費によって維持されております。一口2000円（何口でも可）を次の郵便口座まで振り込んでいただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。なお、納入者については会報に掲載しご報告とさせていただきます。

ゆうちょ銀行口座

口座番号：10200-25747091
口座名：東海大学数学科同窓会

【同窓会費納入者名簿】敬称略

【2016 年度】

恩田さくら、齋藤卓也、谷下友一、宮本甲斐、成田 元、今井一輝、蔵野裕紀、鈴木一平、相馬 僚、青山 力、東 裕太、吉田享平、島岡智也、土田尚人、岡部寛之、澤 宗司、青柳勇作、田中啓之、高桑和志、館野智哉、関田勇喜、松川、高橋将、白鳥雄暉、美濃口真、石澤 樹、熊谷元輝、吉田大祐、橋本紘爾、白濱優人、天野良介、佐藤由佳、平井尚美、斉藤貴大、平岩一樹、鍋谷 茂、青木亮平、堀 智宏、大久保博希、藤原春佳、藤枝桃加、福田真也、大塚麻美、大久保美那、西田瑞希、品川遥菜、小谷野美瑛、高橋あい、青木悟子、阿保勇輔、栗野真樹、栗原健吾、根岸 結、鈴木 崇、滝澤祐太、清水大地、

【2017 年】

山崎則夫

ありがとうございました。

【2017 年度理学部数学科教員名簿】

湘南校舎	主任 教授	フルヤ ヤスオ	古谷康雄
清水校舎	教授	ウラハ マツタ	占部正承
湘南校舎	教授	キキ シ	桐木紳
高輪校舎	教授	カイ トシリ	酒井利訓
湘南校舎	教授	シマ アキコ	志摩亜希子
札幌校舎	教授	チン ウンゴウ	陳蘊剛
高輪校舎	教授	カハワ ノボル	中畑登
清水校舎	教授	カムラ アキヒロ	中村昭宏
清水校舎	教授	ホリ キヨシ	細野潔
湘南校舎	教授	マダダ ヨウイチ	前田陽一
湘南校舎	教授	ヤマモト ヨシロウ	山本義郎
湘南校舎	准教授	ウエキ セイイチロウ	植木誠一郎
高輪校舎	准教授	キダ ケン	貴田研司
湘南校舎	准教授	ササキ アツム	笹木集夢
湘南校舎	准教授	ツキカ トオル	月岡透
清水校舎	准教授	マツダ カツミ	松田克己
湘南校舎	講師	タケ シンゴ	瀧真語
湘南校舎	講師	ツツ タカエ	都地崇恵
湘南校舎	講師	カイ ヒデトモ	長井秀友
湘南校舎	講師	カヤマ ヒロマサ	中山洋将
湘南校舎	講師	カワノ ノボル	小川竜
湘南校舎	講師	イワオ シンスケ	岩尾慎介

以上

【数学科同窓会役員】

会長	山田正和	(69 年度卒)
副会長	松尾久美子	(70 年度卒)
〃	中村昭宏	(76 年度卒)
事務局長	原田三行	(70 年度卒)
幹事	千葉彰悟	(69 年度卒)
〃	沢野重春	(70 年度卒)

〃	坂井和也	(80 年度卒)
〃	岡安英文	(80 年度卒)
〃	山本義郎	(91 年度卒)
代議員	各年代 2 名	
会計	泉水博	(00 年度卒)
監査	手塚政夫	(70 年度卒)

【編集後記】

今年は天候不順で 5 月、6 月から 30 度を超える暑さとなり熱中症対策が急務となりました。また、雨の降り方が 50 年に一度、100 年に一度と言われるくらいの豪雨となり多くの地域で災害、水害が起きました。これには線状降水帯という言葉も現れ、数時間も同じ地域に次から次へと雨雲が出現し、強い雨が降り続くといった具合です。通常、1 時間に 50 ミリ以上も雨が降れば下水処理能力を上回り下水が溢れ道路が冠水することになります。

各地で対策を講じ災害を最小限に留められるような準備をしていきたいものです。

災害は忘れたころにやってくる。注意しましょう。

(み)



(数学科研究室のある 18 号館)



【発行】

発行日 2017 年 11 月 3 日
編集 東海大学理学部数学科同窓会会報編集委員会
発行人 山田正和
発行所 東海大学理学部数学科同窓会
〒259-1292
神奈川県平塚市北金目 4-1-1